



2023年度 市政懇談会
〈高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会〉

次 第

[日時] 2023年10月6日(金) 18:30 ~ 20:00

[場所] 成瀬コミュニティセンター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 上野 恵

○ 連合会長の挨拶

高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 副会長 鈴木 敏高

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 給食センターの設置に伴う車両の交通量増加への対応と住民の安全確保
【道路部】 【学校教育部】
- 2 成瀬駅前交番前の電光掲示板と中央分離帯に設置されたガードレールについて
【道路部】
- 3 市道3・4・34号線の早期開通要望
【道路部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 青木 容子

2023年度 高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会 市政懇談会
議事録（要旨）

[日 時] 2023年10月6日（金） 18：30～20：00

[場 所] 成瀬コミュニティセンター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

道路部長 萩野 功一

学校教育部長 石坂 泰弘

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会副会長 ほか17名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

なるせ駅前市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会

○連合会副会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 給食センターの設置に伴う車両の交通量増加への対応と住民の安全確保

2025年9月の運用に向けて、南成瀬ひがし町内会内の東光寺公園調整池上に南エリア給食センターの設置が計画されています。これまでに町田市の担当者から計画に対する丁寧なご説明を受けていますが、東光寺公園周辺の住民の方々から施設建設中の工事用トラックや、給食供給開始後は配膳のためのトラックの往来に起因する交通事故などを危惧する不安の声が聞かれます。町内会としましては、これらの危惧や不安が解消されるような、具体的な案を町田市から提示して頂くことを要望いたします。

特に、給食センターの出入り口に当たる東光寺公園西側は道路の幅も狭く（※①）、何かしらの安全対策をとって頂く必要があります。また、配送のトラックが利用する道は、南第二小学校の児童や南成瀬中学校の生徒の通学路にもあたります（※②及び③）。児童や生徒はもちろん、地域住民、とりわけ高齢者の安全がしっかりと担保されるよう、歩道等や道路に安全対策を講じて頂ければ幸いです。何卒、ご検討のほど、よろしくお願い申し上げます。

※①東光寺公園西側。給食センターの配送トラックの出入り口となる場所

である。道幅は狭い。

※②配送トラック右折箇所①より直進した配送トラックは、この交差点を右折する。右側の歩道は小学生の通学路であり、特に朝の歩行者が多い。

※③配送トラックは、②から通称さくら通りに出て、この交差点を右折する。この写真に映る2つの横断歩道は小中学生や高齢者の横断も多いが、この箇所のすぐ近くに信号機が設置されており、新たな信号機の設置は厳しいと予想されている。

【回答】

学校教育部長

給食センターに出入りする配送車両は、給食センターの西側を通行します。給食センター西側の敷地内に歩道状空地1.5mを設けることで、視認性を確保して配送車両の運転手が歩行者の安全に注意しやすくできるよう配慮します。

午前は食器と食缶を2回に分けて配送します。10時20分頃から12時25分頃まで、計24回出入りがある予定です。午後は回収です。13時20分頃から15時頃まで、計24回出入りがある予定です。

給食に使用する食材は原則として、当日納品することとなっておりますが、早朝の納品は7:30までとして児童・生徒の登校時間に配慮します。

給食センターの工事中は、工事用トラックの往来があります。小中学生の登下校時刻をふまえて通行するとともに、歩行者等の安全に配慮するよう指示を行います。

道路部長

給食センターを設置する東光寺公園西側から、さくら通りT字交差点までの区間の道路については、これまで、外側線、減速ドット、カーブミラー、ベンガラ舗装、歩行者や巻き込みの注意喚起看板などを設置して、安全対策を実施してまいりました。

今回の、給食センター開所に当たり、改めて現地を確認した結果、外側線、T字マーク、センターライン、横断歩道、止まれの路面標示が薄くなっている箇所を確認しました。そのため、外側線、T字マーク、センターラインは、給食センターが開所するまでに引き直してまいります。また、横断歩道や止まれの路面標示は、町田警察署へ、引き直しを要請しました。

《質疑》なし

2 成瀬駅前交番前の電光掲示板と中央分離帯に設置されたガードレールについて

(1) 成瀬駅前交番前の横断歩道の両側に設置されている、電光掲示板が確認しづらいです。「成瀬駅ガード北」の交差点から、成瀬駅前交番前の横断歩道直前まで電光掲示板がほとんど見えません。成瀬駅前交番前横断歩道の一旦停止直前で見えます。電光掲示板があることを知らない人達が多いです。逆方向の交番側に横断歩道標識の上にある電光掲示板も分かりづらいです。確認しやすい所に設置して頂きたいです。

(2) 成瀬駅前交番前に設置されている中央分離帯にガードレールがありますが、歩行者、特に背の低い子どもの確認がしづらいです。ガードレールを撤去しセンターライン上にポールを立て、そこに電光掲示板を設置したら如何でしょうか。

【回答】

道路部長

(1) の「成瀬駅前交番前の横断歩道の両側に設置されている電光掲示板」について、お答えします。

現地を確認したところ、成瀬駅側に設置されている電光掲示板については、街路樹の幹に隠れており視認性が悪くなっております。成瀬駅前交番側に設置されている電光掲示板については、設置位置が高いことや、掲示板が小さいことを除けば、特に問題なく視認できることを確認しております。

電光掲示板を所管する町田警察署に現地の状況を申し伝えた結果、街路樹と重ならないように張り出し式の掲示板へ交換することを検討しているとのことでした。

また、市としましては、町田警察署が電光掲示板を張り出し式に交換する際、視認性確保のため、街路樹の剪定を考えております。

(2) の「成瀬駅前交番前に設置されている中央分離帯にあるガードレール」について、お答えします。

ガードレールは、歩行者を保護する目的で設置しており、高さは約80cm位でございます。

成瀬駅ガード北交差点から駅方面へは、緩やかな上り坂となっており、ガードレールがあると背の低い子どもについては視認しづらい状況です。駅から成瀬駅ガード北交差点方面へは、緩やかな下り坂となっており、ガードレールがあっても視認性に問題がない状況であることを確認しております。

これらのことから、成瀬駅ガード北交差点から駅方面側のガードレールについては、背の低い子どもも視認しやすくするため、ガードパイプへ交換をしております。

なお、電光掲示板は、センサーで歩行者を感知する仕組みとなっており、

センターライン上に移設すると、センサーで歩行者を感知できなくなるため、移設は難しいと伺っております。

《質疑》

成瀬団地自治会

朝通っていますが、今答弁にあったとおり、電光掲示板すら分からない。赤く点灯しているのは分かるが、ただ赤く点灯しているだけなのかという感じさえ受けます。高い位置にあるから感知ができていないのではないかと感じますが、その点、いかがでしょうか。

道路部長

この電光掲示板は歩行者ではなく、車の方から見る仕様になっています。少し離れた位置から人が横断しているときに車から見えるものです。歩行者が見上げると大分見づらいと思います。横断中と文字で標示がされており、歩行者から見ると、それが見えなかつたりします。仮に新しいものに替えた場合も、歩行者が渡っていることを車に対して示すものだと理解いただければと思います。

成瀬団地自治会

高さはどうなのでしょう。車を運転している方に対して、今、歩行者が横断していますとお知らせするのが主たる目的なのか、横断している人にも車が来ていることを知らせる対応をしているのか。あくまでも車主体なのか、その点、どちらなのでしょう。

道路部長

道路の上に構造物を造るときは、最低の高さが決まっています、専門用語で言えば建築限界という言葉を使いますが、車道の場合は4.5m以上、歩道部分については2.5m以上と決まっています。新しい電光掲示板がつくとすれば、4.5m以上の高さになります。

次に、これが横断している人に対してなのか、車に対してなのかというと、車に対して歩行者がいるので、注意してくださいという掲示です。車は、歩行者がいれば横断歩道は必ず止まらなければいけない。それを事前に遠くから見て分かるようにするものをご理解下さい。

成瀬団地自治会

駅前交番の通りです。運転者に対しても高さの基準があると思いますが、運転者に対してその高さで対応できるのか。現状は結構樹木が張り出しています。現地を見て、高さで樹木がバッティングしてしまうのではないかと感

じます。安い値段で設置できるわけではないでしょうから、効率的に運転者に対しても横断者に対しても、横断している人は車が来ていないか左右を見ながら渡っていますが、車第一の現状ですので、その辺も考えていただければと思います。

道路部長

運転手に対する高さが高いかどうかは、張り出し式のものであれば建築限界があります。信号機と同じ高さをイメージしていただければ良いと思います。あくまでも横断歩道は車ではなく、歩行者が第一の優先です。歩行者が渡っているときに一時停止しなければ、通常は違反になってきます。大きなトラック等が通ってもぶつからない高さの確保は必要になってきますので、運転手から見て点滅とか文字が出ていけば、気づきはできるだろうと考えています。

また、樹木ですが、ここには街路樹が結構植わっています。せっかく電光掲示板を設置したのに街路樹で見えないということは避けたいと思いますので、当然街路樹を意識した位置にしてほしいのと、もちろん、枝の剪定については、せっかくつけたものが見えないことがないように市で剪定します。

鹿島自治会

今、お話を聞いていて、この交差点は私もよく通らせていただきますので、いつも危ないなと思いながら車を運転していますし、歩行もしています。なぜ危ないかという、非常に視認性が悪いです。今ガードレールのお話をされましたが、車線が見えないのです。横断歩道を渡りますと、右折車線に入るか直進車線に入るか。逆から来たときには、対向車がロータリーに右折して入る車線と2つに分かれますが、これがガードレールがあるために分からないのです。いつも通っていても困るぐらいなので、初めてきた人は多分かなり混乱していると思います。

このガードレールは昔なかったのですが、なぜついたのかというのがまず一つ。どういうメリットがあるのか。確かに歩行者を守るというのはあるのですが、あのラインに車が入ってくるのは非常にまれで、なぜあそこにガードレールが必要かというのは分からないと思いました。先ほど意見があったように、ガードレールがあって、こちら側に電光掲示板があって、交番があって横断歩道があって、見るところがすごく多いのです。なので、状況が非常につかみづらい交差点だなと思います。根本に立ち返って考えていただいたらどうかと思います。

道路部長

なぜガードレールがついたかお答えしますと、横断抑止と電光掲示板をつ

ける際に、警察から安全対策の要請があったためです。例えば西側から車が来たときに、横断歩道直近で曲がらない等の抑止や、歩道が長いため、横断歩道で渡り切れない人を守る意味で、警察から設置要請があったものです。

見づらいというのは、我々も現地を確認したところ、理解しています。そのため、まずは上り坂の特に見えづらいところ、成瀬駅北の交差点から駅へ向かって入る側については、視認性の良いガードパイプに変え、車が駅に向かう際も視認が十分できるようにします。まず出来ることをやっていきたいと思っています。その上で、必要に応じて、もっと良い改善のお話があれば、一緒になって我々も現地に立会いながら考えていきたいと思っています。

南成瀬ひふみ町内会

私は電光掲示板は要らないです。しょっちゅう通るのですが、どこに何がついているのか見たことがなかったので、あんな小さいものをつけるのだったら要らないと私は思います。

3 市道3・4・34号線早期開通要望

金森図書館～町田街道～都営金森第3アパート間についてはすでに開通している市道3・4・34号線ですが、金森図書館～松葉谷戸公園～南成瀬2丁目については開通しておらず、代替道路となる南165、南1812を含むJR横浜線成瀬踏切（幅員6m）に交通が集中しております。

南成瀬2丁目と成瀬が丘3丁目境にあるJR横浜線成瀬踏切（幅員6m）については、以前より危険性が指摘されています。特に朝夕のラッシュ時間帯は、踏切の閉まる時間が長くなるうえ、歩行者も多く通勤の自動車、南側から北側には成瀬高校への通学の自転車、北側から南側へは小川高校への通学自転車、また小学校学区の自由化以降は小学生の通学児童もおり、いつ接触事故が起きてもおかしくない状況です。昼間も近隣住民の生活道路として交通量が少ないわけではありません。

今事故が起きていないのは、何か対策の結果起きていないのではなく、各人のモラルのみによって大きな事故が起きていないだけであると考えます。幅員6mのため両側に歩道も設けられておらず踏切を抜けた先の道路も狭いためそちらにも歩道はありません。

高齢者による（だけとは限りませんが）暴走事故や運転の誤りによる事故等、大きな事故が起きてから対応するのではなく、積極的に対策を進めることを期待いたします。恒久的な対策として町田市道3・4・34号線金森図書館～成瀬中央通り間について、早期の開通を要望します。

【回答】

道路部長

町田都市計画道路3・4・34号【本町田金森線】は、本町田の日向台交差点（鶴川街道）から金森二丁目の都営金森アパート前バス停付近（主要地方道目黒町町田線）を結ぶ、延長約4,240mの都市計画道路です。

都市計画道路の整備にあたっては、2016年3月に東京都・特別区・26市・2町で策定した『東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）』に基づき整備を進めています。

町田都市計画道路3・4・34号は、南大谷交差点付近から南成瀬小学校前の通りである町田市道南173号線までの延長約1,840mの区間を、第四次事業化計画において優先的に整備する路線に位置付けております。

優先的に整備する路線の内、区間1の南大谷交差点付近から同時に整備を行う町田都市計画道路3・4・9号までの延長約1,000mの区間については、現在、事業に着手するための手続きを進めているところであり、区間2の町田都市計画道路3・4・9号から町田市道南173号線までの延長約840mの区間は、先行する事業の進捗をみながら事業に着手する予定です。

今回ご要望をいただいている区間3の成瀬中央通りから金森図書館までの区間については、第四次事業化計画において、優先的に整備する路線として位置づけていないため、今後、事業化計画改定の際に、地域の課題などを踏まえ、優先整備路線に位置付けるか検討してまいります。

JR横浜線の成瀬踏切は、現在、成瀬駅側に歩行者の歩行空間を明示するため、グリーン舗装を設置しております。しかし、南に向かう車両の停止線の長さが短く、一部の車両は、歩行者が通行するグリーン舗装をまたいで、通行していることを確認しました。

当面の安全対策としましては、停止線的位置を中央に寄せ、車両が路側帯をまたがないで通行するように改善することや、薄くなったグリーン舗装の引き直しを行い、歩行空間を明確にすること、及び踏切付近に歩行者注意の注意看板を設置してまいります。

《質疑》なし

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

皆様に今日お配りした「2023年度市政懇談会市政報告概要」をご覧くださいと思います。

学童保育クラブの待機児童がゼロになりました。新聞の多摩版を見ている

人はお気づきかと思いますが、最近は小1の壁という記事がたくさん出ています。町田市の場合、そういうことが起きていません。つまり、高学年も含めて入会できない人はいないという意味で、東京の他の市は、学童保育クラブに入れなくて仕事を辞める、パートを辞めるといったことが結構起きていますので、そういう意味では町田市の場合は何とか学童保育クラブの施設整備をしてきたということだと思います。

東京都立の児童相談所の町田市内設置が決まりました。町田の児童相談所ができるという理由は、八王子にあるところから児童相談所の職員が町田に来るのに非常に遠いのです。ましてや成瀬に来るとなったら、どうしたらいいかというぐらいに遠いわけです。一番多いケースは虐待のケースなので、お父さん、お母さんが家にいないとどうにもならないのですが、2人とも働いてしまっているとか出てしまっているとか、お話し合いをするのが5時ではなくて6時とかになってしまう。6時から話し合いをするために、4時半ぐらいに出てくるわけです。終わって7時で、7時から帰ると、また八王子の事務所に戻るのが今度は8時半とか9時になってしまうのです。

実際にお話し合いは時間がかかるものですから、八王子の児童相談所から町田に来て親御さんと会って話をするのは非常に効率が悪いということで、何年も前から東京都にお願いして、町田市の真ん中辺に山崎保育園というのがあるのです。これは公立の保育園ですが、その横に校舎があって、そこに児童相談所が越して来る予定となっています。3年か4年後には、旧忠生第四小学校、今、教育センターのところにビルを建てて、そこに入居するというので、あそこのビル計画を今やっている最中です。ですから、先に山崎保育園のところにきて、それから教育センターのほうに引っ越すということを考えております。虐待の件数も結構増えていますので、そういう意味では頻繁に親御さんに会わないとなかなか解決しないのかなということで要望していたものであります。

小山田子どもクラブ（児童館）が今年の7月にオープンしまして、その次、成瀬地区の子どもクラブは、来年度、2024年度、令和6年度からの工事ということになっています。このすぐ横、30mぐらいのところで工事が始まります。昔の学校のグラウンドになってしまうのですが、三徳寄りに工事をする事になりました。ですから、コミュニティセンターと児童館が隣り合う形になるということです。私の記憶では、たしか昔あそこに学童保育クラブがあったのです。

小学校、中学校の統合の問題があります。一昨年、基本的な計画ができて、今年の3月、半年ちょっと前ですが、南成瀬、南第一地区を含めて5地区の基本計画ができています。今、話し合いをしているところですが、南成瀬地区は南第二小学校に統合校ができることになりました。また、何年か前に南地区で市政懇をやったときに、教育委員会の人間が誰もいないところで質問さ

れて、セントラルパークに引っ越すのだという話が出ていまして、そんなのおかしいとさんざん言われまして、その案が撤回になってしまいました。

それは別として、南第一地区は特に統合とかではなくて、これは南第一小学校を建て替えるということになりました。でも、建て替えるところも結構面倒な話はあるのです。校庭が狭くなるとか、いろいろなことがあって、地元の人にはご理解をいただいてやろうとしています。

給食センターで、これは1個目の質問にあったところです。下水処理場の脇に給食センターを計画しています。2025年の2学期からスタートできるように今準備をしております。一番早いのは2024年の2学期、来年の9月から始まる場所もあります。全員給食となります。

高齢者の特別養護老人ホームの話は大体整備が終わっておりまして、申込みから1年以内に入る方が大体9割となりました。これはさらっと言っていますが、東京のとにかく八王子より東で、こういう市はありません。うちは東だから、南というか神奈川県みたいなものですが、東京都の各市、23区は、市内、区内に入居ができることはあまりありません。東京23区の場合は、群馬とか栃木ということになります。あるいは東京の三多摩でも、青梅とかあきる野に入所するケースがほとんどです。それも待っていただいてそうなるということですので、町田の人はあまり知らないと思いますが、希望する方は、市内の施設に入っています。そういう意味では、訪ねていくとか、お見舞いに行くといったときも比較的楽ですが、そういう市はほとんどありません。みんな遠隔地に行くことになってしまっているのが実情で、実際は東京23区の家において訪問介護も含めて、いわゆる介護難民、介護してもらえない人がおります。

それは何かというと、介護そのものの施設、例えば特別養護老人ホームなどは、今、介護は個室ですから、1人当たりの面積は結構食いますので、お札を何枚並べても買えないような土地では特別養護老人ホームは成立しないのです。実際問題としては特別養護老人ホームでタワーマンションみたいなのはできませんから、平地、3階、4階が限度ですので、介護する側もそうだし、訪問される方もそうですから、そういう意味では東京都内はなかなか立地できないというのが実態です。物すごい金を出して、1人4,000~5,000万円の権利金を出すようなところでない限りはまず無理だと思います。

私の住んでいる近くにも小野路にあるのですが、あそこも多分1人5,000万円、2人で6,000万円、月30万円から40万円ぐらい毎月1人入居費がかかりますので、2人だと80万円毎月払えない人は入れないということで、当然私は入れないのですが、そういうもの以外は東京23区では難しいだろうと思います。

スポーツ公園ですが、忠生のスポーツ公園は2023年9月16日に開園

しました。当日は熱気球を上げまして、朝6時前から待っていた人がいました。その後、西田金森の調節池の上部が公園になります。あと2年ちょっとであそこの上が野球場だとかサッカー場になります。もともとそこで少年野球をやっていた人たちが行き場がなくなっているという状況ですが、あと2年ちょっとでもう1回あそこに戻れるのかなと思います。

その下の（仮称）国際工芸美術館ですが、芹ヶ谷公園のほうです。（仮称）国際工芸美術館そのものは来年2月に着工する予定です。12月の議会で議決が得られればの話ですが、それで2026年9月に開けようとしています。

もう一つ、（仮称）公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟は、来年度中に着工して、（仮称）国際工芸美術館より前にオープンすることになります。例えば版画工房を使っている人は、こちらがオープンしますので、こちらに行って、今後也可以使用できます。

それから、芹ヶ谷公園にエレベーターを設置することになりました。高低差が17mほどあるのですが、そこへエレベーターを造ることになりました。自転車が入れるサイズの大きなエレベーターで、周辺には原町田四丁目、音楽座ミュージカルというのがあるのですが、そちらから同じレベルで下までおりて国際版画美術館のレベルまで、つまり芹ヶ谷ですから谷底まで行って、帰りはそれを上がってくるというエレベーターが2027年度に利用できるという予定になっております。

最後に、横浜線から南側の地域では容器包装プラスチックの分別をしていますが、横浜線から北側の地域も、容器包装プラスチックの分別が2026年度に始まります。ですから、今、黄色い袋に入れている容器包装プラスチックは、ピンクの袋に入れてもらって、ピンクは半額ですから、ピンクのほうにプラスチックを入れてもらって、町田市全域で容器包装プラスチック分別が始まります。（飲料水を手に持ち）こういうペットボトルは、PET（ペット）というので、こちらはPETとして出してもらおう。容器包装リサイクル法に基づくプラスチックはまた別、ふたがプラスチックかな、どこかに書いてあるのですね。あと、外側のラベルはみんな容器包装プラスチックです。

私が自分の家でやっても、ごみの袋の3分の2か4分の3はプラスチックです。ソーセージを買っても、プチプチとハサミで切るのは大体プラスチックで、そのままプラスチックに分別です。ああいうものをごみで今出していますから、あれがなくなると今度は黄色い袋が要らなくなってしまうのです。週に2回も出す必要はなくて、しかも20ℓではなくて、10ℓで済んでしまうくらいになると思います。生ごみはプラスチックに入れられませんが、容器包装のプラスチック分別がもう26年度からスタートいたします。先ほど申しましたバイオエネルギーセンターは稼働開始しましたが、町田市は非常に資源化率が低いです。三多摩でも低いほうから2番目ですので、何とか26年度にはやろうと思っています。

《質疑》

南成瀬ひふみ町内会

私の所属の南成瀬ひふみ町内会は、町内会の中に南成瀬小学校があります。学校跡地のことで市長はどのように思っているのかなど、率直にお伺いできればありがたいなと思いました。関係の市役所の方から何度も私も南成瀬ひふみ町内会長も説明をしていただいているのですが、やはり地元の町内会としては、できれば民間に売却してほしくない、民間に貸出しとかしてほしくないという強い要望があります。また、避難所もなくなりますし、備蓄倉庫も今後どうなっていくのだろうというところもありますので、できればそこに私たちとしては防災公園のようなものをつくっていただければと思っておりますが、あそこは土地が高いと思うのです。市長は南成瀬小学校の跡地を民間に売却したいと思っているのか、どうしようと思っているのかを聞ければうれしいです。

町田市長

跡地の問題は、教育委員会だけではなくて、いろいろなところで説明していると思いますが、第一に、地域の要望を優先するというのが一番の考え方です。ですから、今お話し売ってしまうとかは考えておりません。財政当局は何とかお金をと思っているのですが、土地を売ってもしようがない。つまり、学校は地域の精神的なよりどころとしてあったものですから、何かあったときに集まるとか、何かあったときにそこでやろうという雰囲気を持っているのです。なくなったからといって、それがなくなるわけではないので、求心力とか、みんなが集まるような施設とか場所が最初に必要なので、それが地域社会とかコミュニティーを維持する一番大きな要素ではないかと思うのです。

なぜそんなことを言うかという、町内会・自治会の役員の成り手がいないとか、会員そのものが抜けてしまっているという時代になってきました。そういうときには、よりどころになるところを残す、あるいは使い方としてそういうものにするのが原則ではないかと思うのです。売ってしまうというのは、私は考えておりません。

何にするか、防災公園はとても良いのです。なぜかという、町内会・自治会の仕事の中で、かなり防災のことは重要なのです。もう一つは、お互いに協力しないと防災は成り立たないのです。とにかく1人では歩き切れない、杖をついても、片方で手を引いてもらわないと歩けない人がいることを知っているかどうか。知っていれば、防災公園なら公園へ行きましょうというけれども、町内会・自治会でどこにそんな人がいるかは誰も分からないのでは、取り残されるだけみたいになってしまいますので、防災公園みたいな機能は重要だと思っています。

南成瀬ひがし町内会

給食センターの話が最初にあったかと思うのですが、時間が遅くなって質問ができませんでした。給食センターは、我が町内会の公園と調整池のところにできるということで、当然我が町内会としては反対という立場ではなくて、おおむねお願いしたいということではありますが、それに伴いまして、工事に大型トラックが入ってくる。そして、今後、給食センターから各中学校に対してトラックで配送する中で、町内会の皆さんとしては本当に安全対策は大丈夫なのかということが非常に懸念ということで、保健給食課の皆さんからも毎回その都度いろいろと説明いただいていることなので、本当にありがたいと思っているのです。

そのような中で、住宅街の皆さんからは、安全対策は大丈夫なのか、給食センターができるようになって大型トラックが入ってこられるのか、その辺の安全対策は我が町内会としては懸念しているところです。その中で目に見える形で、会長から交差点にガードマンを設置してほしいという話もあったのですが、そこまではなかなかできないと思うのです。例えば大きな看板を設置していただいて気をつけていただくことも含めて、その辺、安全対策は本当にお願いしたいというのが町内会の大きな要望です。町田市内でも、住宅街の中でも工事があるとか、そういうことでやっていると思うのですが、どういう安全基準の中でやっているのかを含めて、再度で申し訳ありませんが、安全対策についてお聞きしたいと思います。

町田市長

実際に稼働し始めると24回の出入りがあります。ただ、稼働し始めるといっても、車両が動くのは午前10時を過ぎてからですので、他の人は歩いています、子どもたちは通学していません。帰りの食缶の回収といったものも3時過ぎには終わってしまいますので、そういう意味では通学時間にあそこを何十台も出入りするということはない。もう一つは、こういう言い方は変ですか、こんな狭いところの工事はガードマンなしでは絶対できないし、我々もそういうつもりはないので、工事中は一番安全です。

南成瀬ひがし町内会

通学時間帯にないというのは分かりましたが、その時間以外でも大型トラックが入ってくると、住民の方が歩いている中で結構狭いのです。最後の信号のところは多分大型トラックは入れない状況だと思うのですが、その辺の安全対策について再度お願いできればと思います。

町田市長

これも言わなければいけなかったのですが、さっきの20何回というのは

小型トラックです。2トンの小さいトラックですから、そんなに大きな問題は
ありません。食材納入の大型が入ってくるケースはあるかもしれませんが、
これは朝7時半までには終わりますので、これまた大人は心配かもしれない
けれども、子どもは特にまだ家にいますから大丈夫です。

南成瀬ひがし町内会

我が町内会としては安心して受け入れていいということで、市長、よろし
いですね。

町田市長

はい。

南成瀬ひがし町内会

分かりました。

町田市長

すみません、重ねてよろしくお願いします。

南成瀬ひがし町内会

工事の安全対策と給食センターの配送の安全性ですが、どうぞよろしくお
願いします。

町田市長

すみません、つけ加えるべきだったのですが、たくさんの学校が中学校給
食で恩恵を受けます。でも、面倒なことが起こるのはここだけなのです。そ
ういう意味では、給食センターの立地をしているところの皆さんには大変申
し訳ないのですが、ここだけはマイナスの部分があります。ただ、どこかに
ないと、3,000食というオーダーですから、3,000人の子どもたち
が食べるものですから、どこかで犠牲とは言わずに少し我慢をいただきたい
と思います。

高ヶ坂第一町内会

まず1点ですが、学校の統廃合計画は、小学校が46校から23校、中学
が20校から15校になるという大規模な統廃合、全国的に見てもそうある
話ではないような話を聞くのですが、その中で統廃合計画は審議会の諮問を
受けて云々だと思ふのです。学校教育法施行規則を読むと、基本は12から
18クラスだと法の中にうたわれていますが、それを大きく逸脱するような
大規模校が、2040年に最終的に終わるといってお話を聞いていますが、そ

こら辺はどう考えているのか。法を逸脱してまで、行政がこの統廃合計画をやっているのか。そこら辺のお話を1点お伺いしたい。

それから、学校単位で学校を核としていろいろなコミュニティーができていると思うのです。学校がなくなることによって、高ヶ坂小学校ではもう40何年たつのか、住民と学校を介したコミュニケーションができているわけです。それが崩壊してしまう。子どもが少なくなるから、全校を建て替えするには大変なお金がかかる。資料によると540億円弱の余分なお金がかかってしまう。それだけでいいのですかという疑問がいろいろなところから出ているのです。この辺をどんなふうに考えているのか。

うちの町内会で言うと、毎週水曜日に高ヶ坂小学校の体育館でソフトバレーをやっているのです。だから、体育館を利用していろいろなグループがいろいろなコミュニケーションをつくって、町をつくっていると思うのです。そういったコミュニケーションを破壊してまで大規模な学校統廃合計画をやっているのかということです。

もう1点、この統廃合計画は、議会とはどういう調整がなされているのか。教育委員会の議決を経て統廃合計画が承認されたというような新聞を読みましたが、そこら辺も含めてお伺いしたいと思いますので、よろしく願います。

町田市長

ありがとうございます。3番目の議会との関係は、学校教育部長というわけにいかないなので、私からお答えします。

計画そのものについては、最初に申しました2021年5月だったか、計画をつくりました。2年前です。もちろん、今お話のとおり町田市教育委員会です。それを前提にというか、それをベースに、毎議会とは言いませんが、各議員にこの計画について説明して、ご理解をいただくということをしています。もちろん、全員が賛成しているわけではありませんが、そのようにしております。

この統廃合に関わる関係の予算についても、毎年度予算を出して可決をいただいている。これも全員賛成ではなかったと思いますが、予算も、そういう説明をして可決いただいております。そういう意味では、議会の意思として反対だということは特にありません。ただ、いろいろなことがありますので、必ず毎回質問ももちろんありますし、その前に委員会での質問もあります。その質問というのは、委員会で教育委員会が説明をして、それに対する受け答えをやっていきますので、かなりの頻度で説明をし、また予算も、そういう意味では可決をいただいておりますので、そこでもめにもめているということではありません。

1番目、2番目は学校教育部長から。

学校教育部長

最初におっしゃっていましたが、2040年までに小学校を42校から26校という形になっています。中学校は20校から15校です。施行規則、学校の設置の関係だと、標準の学級数として、小学校を例に取りますと、12から18クラスとは書いてあります。ただ、これは標準ということで、それぞれの地域の実情に応じて決めていいということになっております。当然、田舎のほうですと単学級にしかならないところがありますから、なのに12でやらなければいけないということはありませんし、都心で子どもが多いときは18クラスを超えてしまいますから、それを駄目だということはありません。それは地域の実情に応じてになります。

町田市の新たな学校づくり推進計画は、町田の新たな学校づくり推進審議会でご審議いただいたときに、保護者とか教師の方、有識者の方と話をし、あと保護者と教員に対して、1学年で何クラスがいいかというアンケートを取りまして、一番望ましいのが3クラスということになりました。ただ、2から3クラスとしてしまいますと、2がいきなり少なくなって1になると困りますので、3から4クラスを基準に町田市としては統合していこうと。すごく大きな学校ができるとおっしゃっていましたが、そういうことではなくて、基本的には小学校の場合でしたら4クラスまでの学校と考えています。それ以上大きいものをつくるつもりはございません。

あと、学校を中心にして活動していくコミュニティーというお話をいただきました。当然それぞれ学校は地域の中心であるということは、こちらも承知しております。ただし、今回の計画の大前提としまして、2040年までに児童生徒が30%減ってしまうという推計が出ています。そんな後ろ向きでいいのかという話もありますが、実際の推計としてそういうものが出てまして、今、日本全国の新しいものが出ているのですが、さらに児童生徒の数は落ち込んでいます。ということは、町田市はさらに減っている状態です。そういうところで単学級の学校を維持していくのではなくて、適正な規模の学校を維持していこうということで、適正規模・適正配置ということを考えたときに、この26校という形になりました。

ただ、それぞれの学校の中に、当然地域の方が逆に利用できるスペースを設けていこうと思っております。コミュニティーも新しく、正直、今まで通学範囲は、こちらの児童生徒が増えたからということで線を引いたりしていた。1つの町の中で2つあるとか、そういうことがありますので、町区域に合わせた形での通学区域を再設定しまして、その中での学校という形になるべく近づけるようにして、コミュニティーとして、その町の方たちが学校を利用していただく。今、学校開放等がありますけれども、もっと利用していただくことができるのではないかとということで計画をしております。

そのような形での運営も考えて、第1期で5地区やっているのですが、そ

ういうところを考えながらつくっていきこうと思っております。

成瀬殖産地区自治会

先ほど市長から防災のことについて、体の不自由な方もいらっしゃる、そのときのという話もあったと思うのですが、いわゆる要支援者ということでは、町田市では、A方式、B方式で把握するように自治会に伝えてあるとは思いますが、絶対把握すべきものなのか。お恥ずかしい話ですが、私たちの自治会は個人情報ということで、それを去年破棄されてしまったのです。全くどういう方が町内にいるかが把握できない状態で受け付けておりまして、市のほうで割と強く言っていただければ、きちんとそれをデータとして取れると思うのですが、捨てられるということがないようなことをお願いしたいなと思ひまして、ご質問というよりお願いになってしまいましたが、その辺、いかがでしょうか。

町田市長

Bのほうは、本人には関係なく、もうこの人と決めてしまうのがBなのです。基本はまずAだと思うのです。本人が同意して名簿に登載するというのが当たり前とっては当たり前なのです。ただ、実際に避難できない状態で本人の同意が取れていないというケースがあるのが多分Bだと思うのです。私も詳しいことは分からないのですが、今は避難行動要支援者の人たちの名簿を作って、それを市として全部把握して、それから町内会・自治会には、こういう人がいますよということをお願いをしようということになっているのですが、今は会長さんと民生委員の方も持っていますか、もちろん消防のほうは持っているのです。できればきっちりやりたいのですが、流出を心配される方がいらっしゃるということで、やめてしまうという形になって、多分そういうケースだったと思うのです。

先ほど申しましたのは、市役所、あるいは民生委員の人が名簿を持ってやるというより前に、付き合いの中で、この人は多分そうだよということ、私が誰かに言われたのですが、この辺の人はみんなあのおじいちゃん、おばあちゃんは誰だと知っているよ、名簿などは要らないよ、いざとなったら行くのだよと言われてしまひまして、名簿は要らないのかなと思ひたのですが、そういうふうには全部はいかないので名簿が必要だと思ひます。

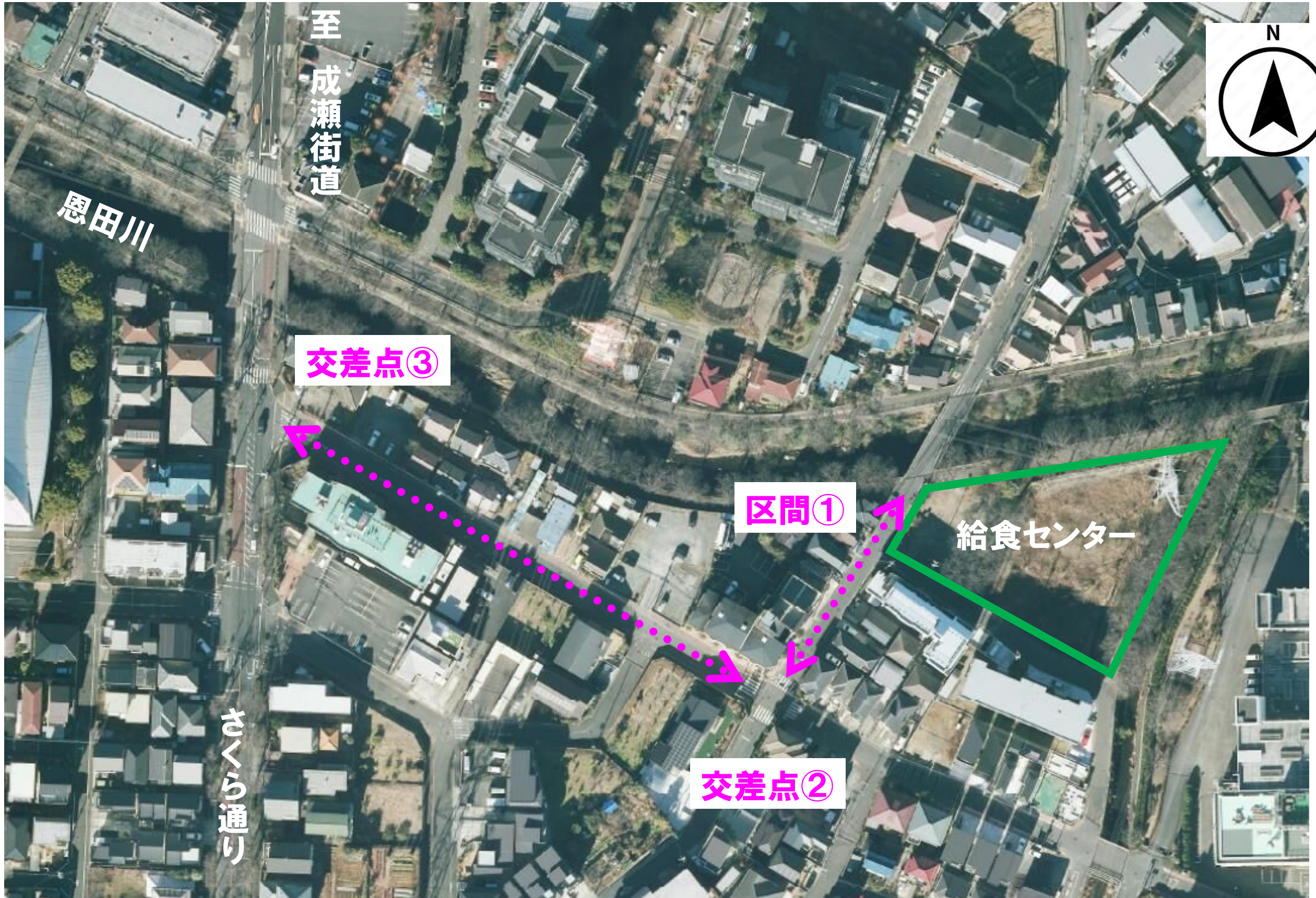
ただ、さっきも言ひましたように、そんなものなくたって、いざとなれば助けに行くのだからと言ひられました。でも、それができないコミュニティーもあるのです。そこがBのほうに出てくるケースで、つまり、みんな知らんぷりというのは変だけれども、付き合いがない。全く高齢者の方と付き合いがない、あるいは障がいのある方と付き合いがないというケースをどうするのか。それが避難行動要支援者の方が名簿から漏れてしまひたら困るという

のが名簿を作っている一番の理由かと思えます。

私のところも、この間、移られてしまったのですが、向かいの家はデイサービスの車が来て様子を見ているから、これはいざとなったらというのは名簿も何も分かっているわけです。ですから、そういうのがコミュニティなのかなとは思っています。すみません、答えにならなくて。

○閉会の挨拶（高ヶ坂・成瀬地区町内会連合会）

議題1 給食センターの設置に伴う車両の交通増加への対応と住民の安全確保



議題2 成瀬駅前交番前の電光掲示板と中央分離帯に設置されたガードレールについて

成瀬駅側・東から西方面

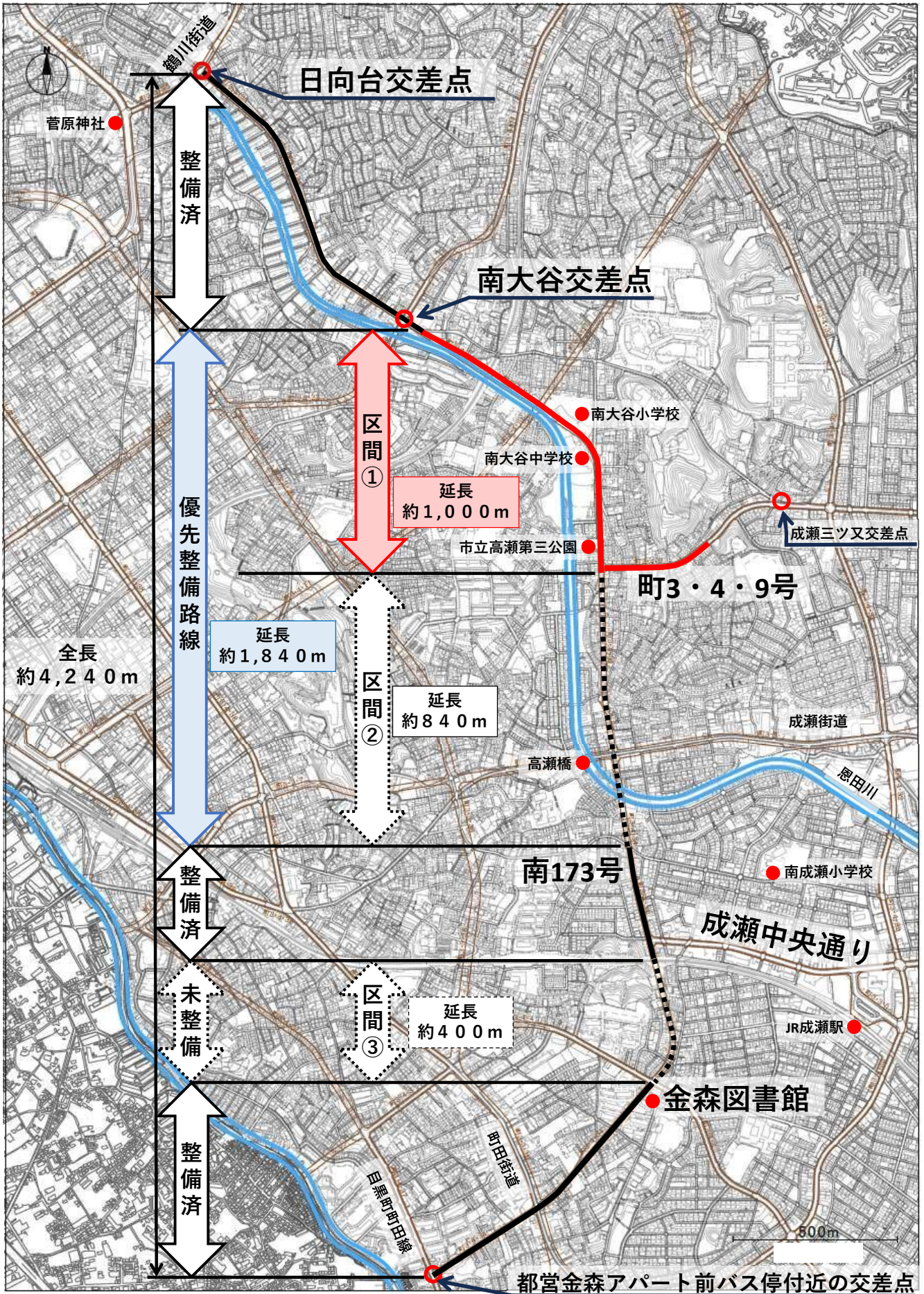


交番側・西から東方面

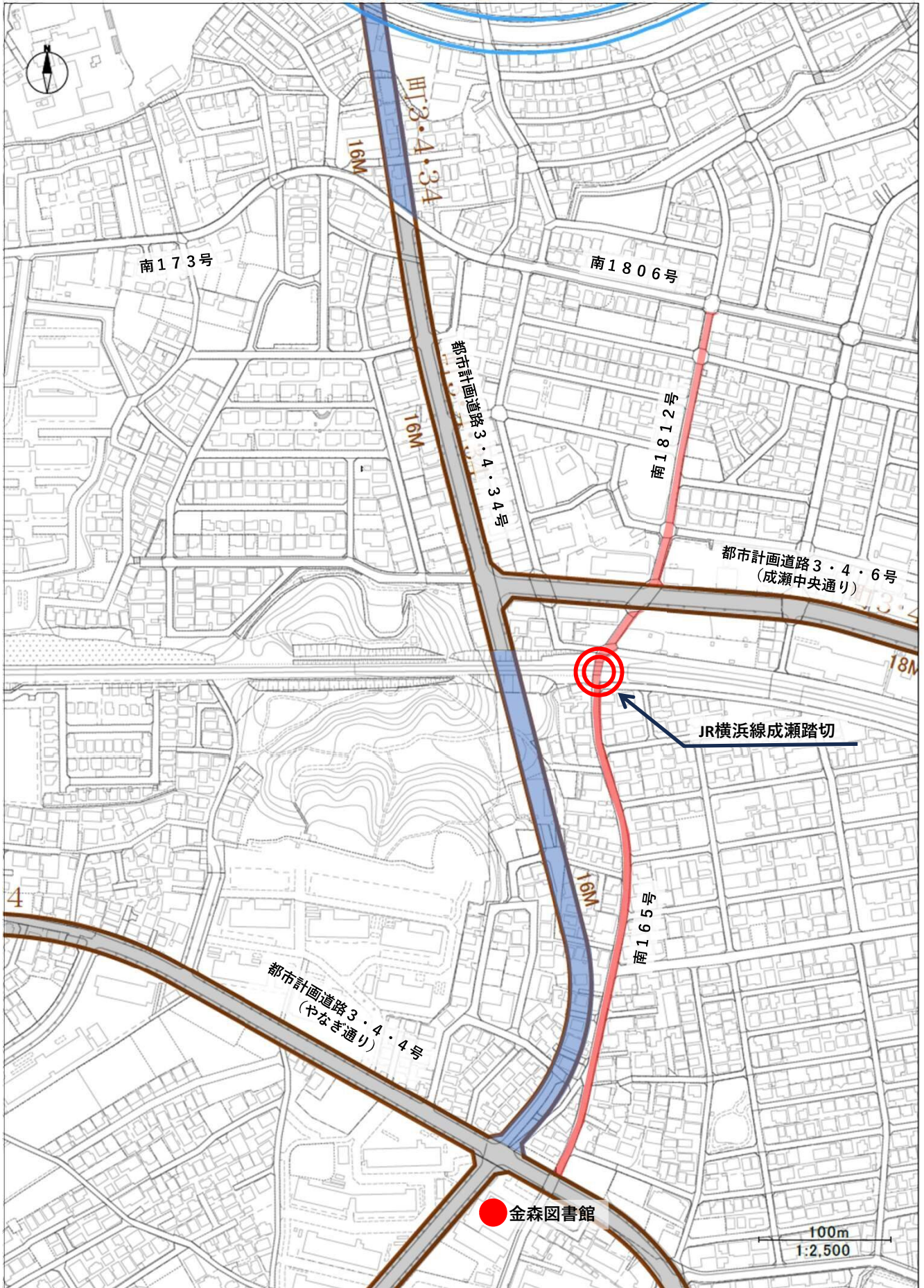


張り出し式電光掲示板のイメージ





議題3 投影資料2 町田都市計画道路3・4・34号 成瀬踏切周辺



議題3 投影資料3 JR横浜線成瀬踏切の概況

サイゼリア町田南成瀬店

都市計画道路3・4・6号
(成瀬中央通り)



停止線位置調整



歩行者注意看板設置

成瀬踏切

JR横浜線

至 成瀬駅



至 町田駅

グリーン舗装
引き直し

